



いくへに聞くは鵺の聲
The Nue's cry, heard time and again,

あら恐ろしや
すゑは
凄しや

made for a vision both terrifying and awe-inspiring

ささや
もののけたちの囁き展

展覧会 能楽×現代美術

Whispers of the Mononoke ~Noh meets Contemporary Art~

2025 11.1 (Sat) ~ 11.30 (Sun) 瑞雲庵 Zuiunan

昼光の部 12:00~15:00 / 夕映の部 15:00~18:00 (金・土・日・祝日 開廊 *月~木 休み) / 入場無料

Daylight Session (12:00-15:00) / Evening Glow Session (15:00-18:00) | Open on Fri - Sun, and holidays *Mon-Thurs closed / Free Admission

ヤマガミ ユキヒロ
Yukihiro Yamagami

SPEKTRA

特別参加 | 写真家
中澤 有基(Q)
Yuki Nakazawa

特別参加 | 音響
島田 達也(night cruising)
Tatsuya Shimada

特別協力 | 観世流能楽師シテ方
林 喜右衛門
Kiemon Hayashi

主催/YAMAGAMI YUKIHIRO STUDIO 助成/公益財団法人西枝財団「瑞雲庵における若手創造者支援事業」
協力/井上真史・北原香菜子・桐原冬夜・井本修

西枝財団
Nishieda Foundation



ささや

展覧会

能楽×現代美術

もののけたちの囁き 展

Whispers of the Mononoke ~Noh meets Contemporary Art~



ヤマガミ ユキヒロ
Yukihiro Yamagami

SPEKTRA

特別参加 | 写真家

中澤 有基(Q)
Yuki Nakazawa

特別参加 | 音響

島田 達也(night cruising)
Tatsuya Shimada

特別協力 | 観世流能楽師シテ方

林 喜右衛門
Kiemon Hayashi

鶴（ぬえ）という妖怪を知っているだろうか。
その姿は、頭が猿、体が狸、手足が虎、尻尾が蛇。まさに不気味な姿をしている。
ただ、もともと鶴とは「夜に奇妙な声で鳴く鳥」、トラツグミのことを指していた。
なぜ、普通の鳥が妖怪へと姿を変えたのか。きっかけは、ある事件であった。
平安時代。天皇の住む御所の上空に、黒煙とともに鶴に似た不穏な声が響き渡り、
その怪しげな気配により、時の天皇は恐怖のあまり病に伏したという。
後に弓の名手・源頼政とその家臣によって討たれたと伝えられるが、
その亡骸を見た者は、彼ら以外にいなかった。
私は、その後に鶴が辿った旧跡を巡りながら、妖怪「鶴」を探すことにした。
まず、元離宮二条城の北西にある二条公園へ。
ここは、頼政に射られた鶴が天空から落ちた場所とされ、
近くには「鶴池」と呼ばれる、小さな池がひっそりと残っている。
次に向かったのは、討伐の際に使われた鍬が奉納されている神明神社。
繁華街・四条烏丸から南東へすぐの場所にある。
さらに歩を進め、上賀茂神社近くのある古民家を訪れた。
中は広く、壮麗な日本建築であった。
だが、時折、違和感を覚える。
何者かの足音が、聞こえる気がする。
何者かの声が、聞こえた気がする。
何者かが、目の前にいる気がする。
……あなたは、だれだ。

event 11/1 (Sat) *入場無料 / Free Admission

15:00~16:00 クロストーク | ヤマガミユキヒロ (現代美術家) × 井上真史 (怪談文化研究家)
Cross Talk | Yukihiro Yamagami (Contemporary Artist) × Shinshi Inoue (Researcher of Ghost Story Culture)
16:00~18:00 オープニングレセプション / Opening Reception

本展覧会は、外光を取り入れ、音声と気配を用いた展示です。「昼光の部」「夕映の部」ともに展示内容は同一ですが、鑑賞する時間帯や天候によって、作品の表情は移ろいます。なお、本展はパフォーマンスや公演ではありません。ご自由にご鑑賞ください。

This exhibition incorporates natural light, sound, and subtle presences. The content remains the same in both the "Daylight" and "Twilight" sessions, yet the appearance of the works shifts with the time of day and the weather. Please note that this is not a performance or staged event. You are welcome to explore the exhibition freely.



会場：瑞雲庵
Venue: Zuiunan



Google Map

〒603-8074
京都市北区上賀茂
南大路町 62-1

お問い合わせ

YAMAGAMI YUKIHIRO STUDIO mail | info@yamagamiyukihiro.net
西枝財団 mail | info@n-foundation.or.jp web | https://www.n-foundation.or.jp

